

造林シリーズ【その3】

無節材をつくるための枝打

枝打は、植栽した「すぎ」や「ひのき」がある程度大きくなってから下枝を切り落してやる仕事で、節のない上等の木材をつくるために行ないます。生長の良い林で10年生、遅い林で15年生位になると木が大きくなるにつれて、下枝は日光があたりなくなり枯れていきます。枯れた枝はそのままにしておくと幹が太るにつれて巻き込まれ、死に節になります。特に「ひのき」は、枯枝が落ちにくく枝打をしてやる必要があります。枝打は、枯枝ばかりでなく、生きている枝の一部も切落します。最初のうちは地上2m位までですから手がとどきますが、木が大きくなると木に登って枝打をしなければならず、なかなか大変な仕事ですが、良質の柱材不足で市場性が高いため、富士市林業振興対策協議会の会員は熱心に枝打しています。

富士市は、県下で最初の試みとして、枝打の実施に対して補助金を出しています。そのねらいは、富士山麓には富士地区、駿東地区などを合

せると4万本の「ひのき」の林がありその半分以上の面積が枝打を待っている20年生前後の林です。みんなで枝打をすれば全国でも有名な「ひのき」優良柱材の産地になります。節の無い柱材は、普通の柱材の価格の5倍もします。そこで、他の市町村に先がけて枝打をし、無節材がとれるような手入れをした林を登録して、後日、伐採し売却するときの証拠とし、その林を「パイオニアの森」と名付け、富士山麓の緑を守るとともに林業の経営を有利にするための先駆者の森をつくりましょう。

◆枝打の目標

- (1) 節の無い柱がとれるよう枝を打つ。
- (2) 第1回目は10年生～15年生頃、根元の直径が平均して8cm位の太さになったとき地上2m位ま

で枝打する。

- (3) 第2回目は地上2m位の太さが平均8cm位になったとき、地上3m位まで枝打する。
- (4) 第3回目は地上3m位の太さが平均8cm位になったとき、地上4.5m位まで枝打する。
- (5) 植栽本数は、多く植えて枝打と間伐と合わせて手入れをします。

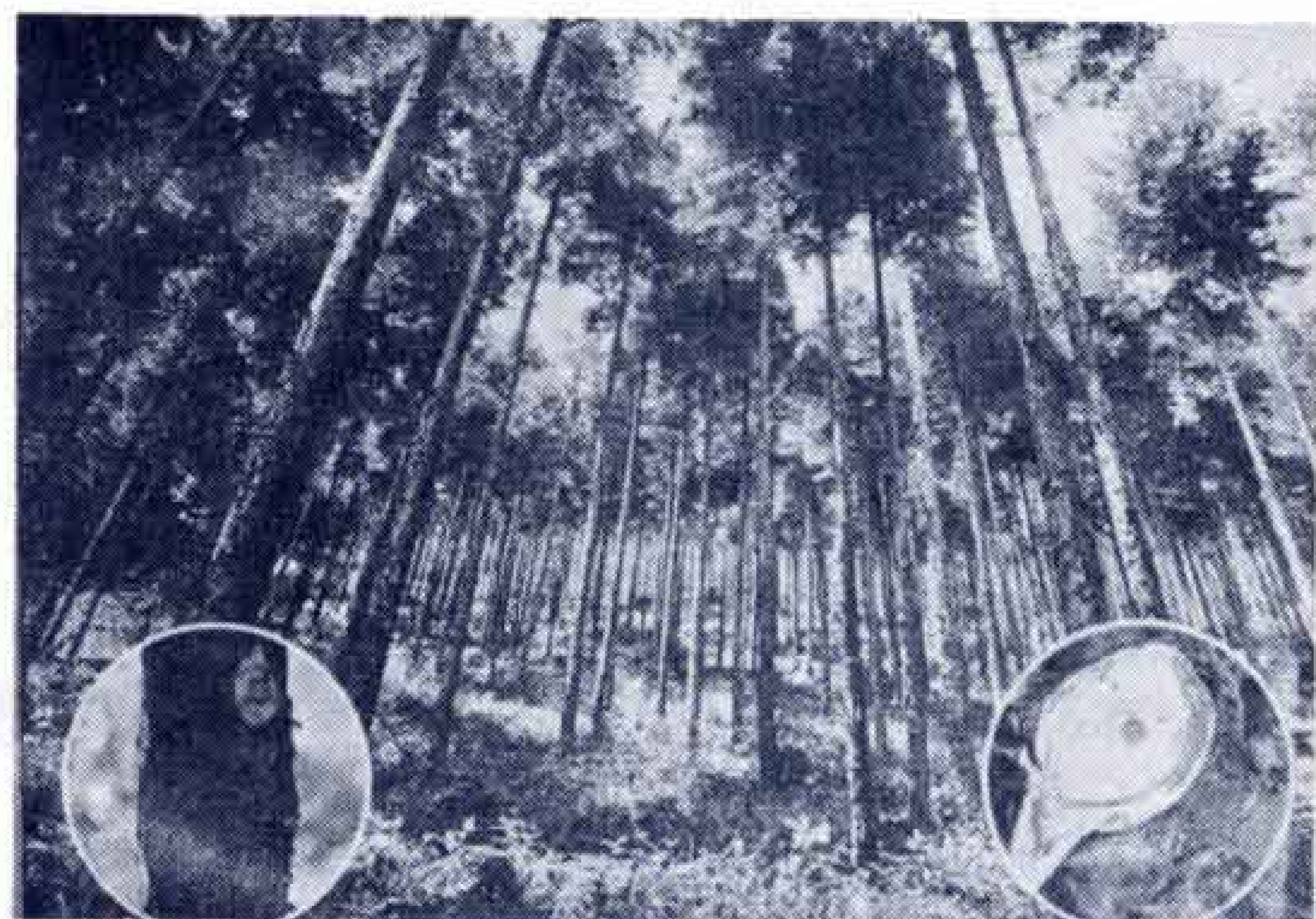
●植栽本数 1畝 4000本位

●45年生伐採 1畝 1500本位

※枝打の適期は、10月から翌年3月ころまでです。

◆問合せ先 経済部林政課

電話51-0123 内線411~413



「パイオニアの森をつくりましょう」

10月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください

■10月3日

外科 川村医院(富士中島 61-4050)
秋山医院(富士岡 34-0075)
産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

■10月10日

外科 戸田医院(横割1 63-5213)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■10月11日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■10月17日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
清河医院(広見6 52-6212)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■10月24日

外科 山崎医院(厚原 71-3315)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

■10月31日

外科 宮下医院(平垣 61-0376)
吉原病院(南町 52-0780)
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。